

# 平成28年度函館市公共下水道事業報告書

## 1 概 況

### (1) 総括事項

平成28年度の処理区域内人口は237,998人となり、前年度に比べ2,553人減少したが、下水道普及率（行政区域内人口に対する処理区域内人口の割合）は90.3%となり、前年度に比べ0.1ポイント増加した。

また、水洗化区域内戸数は136,551戸、水洗化済戸数は129,834戸となり、水洗化区域内戸数に対する水洗化済戸数の割合は95.1%となった。

事業収益については、他会計負担金や引当金戻入益の減少等により、前年度に比べ6,999,059円の収入減（0.1%減）となり、総額で7,582,159,419円となった。

事業費用については、職員給与費や企業債利息の減少等により、前年度に比べ61,768,784円の支出減（0.9%減）となり、総額で6,557,864,478円となった。

この結果、当年度の収支は、前年度に比べ54,769,725円増加し、1,024,294,941円の純利益を生じた。

建設改良事業については、南部下水終末処理場汚泥処理施設乾燥設備工事を平成28年度から2箇年の継続事業として着手したほか、下水管渠工事、公共柵新設工事、大手ポンプ場電気計装設備工事等を予定どおり施行した。

なお、下水管渠事業、ポンプ場事業および函館湾流域下水道事業費負担金で、合わせて136,756,050円が建設改良費の繰越額となっている。

このほか、今後の公共下水道事業について、目指すべき方向性を明らかにし、望ましい姿に向けた取組を示す指針として、平成29年度からの10年間を計画期間とする「函館市上下水道経営ビジョン」を、平成29年3月に策定した。